



特産品の直売所「地場物産館」



しかし近年の道の駅ブームで、比較的近くに魅力的な道の駅がつけられ始めると、来場者の数は徐々に減少してきました。その対策が、運営を一本化して効率化を図り、統一感のある施設として再出発することでした。今はまだ新体制になって日が浅いため、問題点の洗い



上関 未来通信

豊かな町を原電とともに

上関町まちづくり連絡協議会 ● 会報

No.4

通算316号

発行 平成22年12月25日

「道の駅」発祥地が 体制一新で再スタート

今年5月、これまで施設ごとに行っていた運営を統一しようと、町や農・漁協などが共同出資して新たに会社を設立。7月から新体制で再スタートを切りました。今回は、上関町で計画されている施設と共通点も多い『道の駅阿武町』のレポートです。

町民向けの施設を道の駅に

もともとこの場所は、近隣漁業者のための保養温泉施設（テルメ阿胡）や特産品直売所などを設置した、主に町民が対象の「憩いの場」として整備が進められてきました。平成4

年に道の駅構想が持ち上がった以後は、食堂、温水プール、多目的広場などが次々とつくられていきます。また、平成14年には道の駅発祥を記念した『発祥交流館』を設置。情報交流コーナーやパン工房なども設け、複合施設として多くの来場者を集めていました。

出しとその対策に取り組んでいるとのことなので、その取り組み内容をうかがってみました。

地元の特徴を活かしたい

道の駅阿武町支配人 新谷 宏志さん

「直売所」と「産直市」の違いは？

新谷 ● 阿武町には山間部にも集落があります。遠方の人は商品の搬入が難しいので、まとめて直売所が仕入れ、販売しています。値段もこちらで決めています。

一方、産直市は近くの農家が独立採算で運営しており、組合員は100人ほどです。道の駅は施設を貸しているだけです。

漁業者との連携は？

新谷 ● 鮮魚はすべて漁協を通じていきます。関係漁協は奈古支店と宇田郷支店があるので、日替わりで交互に仕入れます。魚種や値段は、今ところは漁協任せです。しかし、それは消費者ニーズに合わない可能性もありますから、今後は協議して決める体制にしたいと思っています。



鮮魚コーナーには日本海の魚が並ぶ

また、今年奈古支店が活魚施設をつくりました。活魚の販売がしやすいので、こちらとも連携していければと思っています。

ほかに特産品はどんなものがある？

新谷 ● ほとんど阿武町にしかない無角和牛は人気の特産品です。このほか、町内にある鍛冶屋さんの包丁や、養蜂家のはちみつなどで、全体の8割くらいが地元の商品です。

また、林業があるので、まな板や木工品なども特産物の一つです。木工細工の日本地図は、ネットで紹介したら予約が殺到しました。

レストランはどのような特徴がある？

新谷 ● これまでは独自の経営をされていたので、地元の特徴が出し切れていませんでした。海産物と無角和牛という素材があるので、これを活かしたメニューづくりが今後の課題です。

温泉の利用者は？

新谷 ● 年間2万人程度で、地元の人や8割くらいです。はじめは漁師さんが対象だったため、露天風呂やサウナもありませんでした。しかし、



奈古漁協が設置した活魚蓄養施設



窓から海が見える浴室

「テルメ」は「温泉」の意味「阿胡」はこの辺りの古い呼び名

これから町外者も対象とするなら改良しないと難しいでしょうね。

集客のためのイベントなどは？

新谷 ● 年に4回、ブリの解体ショーなどのイベントを企画しています。12月11日に点灯式を行った「イルミネーション・フェスティバル」は、町内の企業やお店、民家とも連携した祭りです。こうしたイベントを通じて地元を根付いた道の駅をPRしていきたいと思っています。

刺身定食は1350円 県を組み合わせると日本地図になる



町内13団体・企業が出展したイルミネーション

時代の要求にこたえるために 時代の変遷に対応しようと運営形態を変え、再スタートを切った『道の駅阿武町』には、参考となる事例がたくさんありました。

※ 平成5年4月に「道の駅」の登録証を交付されたことから、発祥地を標榜している。

まちの問題は町民が決める

町外者はこれ以上 町内を混乱させるな!

緊急特集

町民の7割は原電建設を望んでいる

濱田隆晴／田ノ浦にいたる人たちは代替案も何もなく、ただ反対するだけです。中には1年くらい住んでいる人もいるそうですが、私たちは一生この町で暮らしていくのです。自分の主義主張だけを一方的に押し付け、町民を混乱させるのは止めてほしいと思います。



独りよがりの行動で町民は迷惑



佐々木敦雄／「原発ができたら瀬戸内海は死滅する」かのようなことを言ってきますが、そんなことはあり得ないし、埋立の影響もわずかだと聞いています。ただ、私たちの主張を書いた申し入れ書は受け取ってくれました。お互いの意見を知ることは大切だと思います。



要請文をきちんと読んでほしい



妨害の根拠に正当性はない

柏田真一／現場にいた一人に「私たちはこれからも上関町に住んで、子供を育てていかなくてはならない」と言う「気持ちにはわかるし、妨害が悪いことなのもわかっている」との返事。それならやめてほしいと要望しました。「話し合いの場を設けたい」とも言っていましたね。



「妨害は悪いこと」なら中止を



彼らの主張はきれい事ばかり

福永正人／中の一人が「原発はやめて、自然エネルギーをやめよう」と言ってきました。それですべて賄えれば、電力会社がやってくれるでしょう。「きれいな海を守れ」とか「子供たちのために」などときれい事を並べるだけで、上関の現状を何もわかっていません。

妨害行為は許せない



部屋常夫／私が「原発を止めて、エネルギーはどうやって確保するのか？」と聞くと、「太陽光とか風力でやっていく」という答えでした。現状、それでは無理なことは常識です。やっぱり彼らの言っていることはきれい事で、それが妨害行為の根拠なら正当性はないと思います。



古泉直紀／2月に行われた町議会議員の選挙では、7割の方が原電立地を契機とした町づくりを支持しています。町外から来た反対派の人たちは、町民の選択を無視する妨害行為はすぐに止めてほしい。

町連協が妨害中止を要請

11月18日、町連協の幹事ら7名が田ノ浦を訪れ、そこに滞在している町外からの反対派に工事の妨害中止を要請するとともに、町民の思いを記した申し入れ書を手渡しました。これには「選挙によって町民は原電建設を契機にした町づくりを選択したこと」「多くの町民が妨害行為によって迷惑していること」「町の問題は町民同士で解決していくこと」などを書いています。申し入れ書を受け取った10数人の町外者は、「読む」ことは約束してくれました。読んで、ぜひ私たちの思いを受け止め、すぐに妨害行為をやめてほしいと思います。



「正義」を間違えないで

Welcome かわみのせき

昨年10月に赴任しました。仕事柄、地元の方と触れあう機会が多い業務です。通りすがりの子供から初対面の人まで、みんなが挨拶してくれるのに感激しました。もう少しお店が増えて、買い物物が便利になったら嬉しいですね。仕事が進められないのは困っています。反対派の「白紙撤回」という姿勢は疑問ですね。町民の総意は「賛成」です。もっと世論を盛り上げる必要があると思います。

上関原子力発電所 敷地造成工事共同企業体 環境安全課長 **笠岡 忠 さん**

上関原子力発電所 敷地造成工事共同企業体 事務長 **奥瀬 照彦 さん**

平成22年を振り返って

- 1/14 原子炉設置許可申請に関する町内説明会開始
- 1/20 会報「元」正月発行
- 2/14 町議会議員選挙で初選を繰り替え
- 3/23 祝島での説明会開催を要も上陸を阻止される(3日連続)
- 3/31 地裁若菜支部が工事区域の妨害禁止を命ずる決定
- 4/7 町連協代表らが田ノ浦で妨害中止を要請
- 4/28 会報「未来通信」第1号発行
- 4/28 祝島島民を対象に海菜庵で説明会を実施
- 5/16 推進6団体が参加して上関原電推進総決起大会を開催(代表者ら祝島・田ノ浦の反対派に抗議)
- 5/17 推進6団体が中国電力本社に推進を要請
- 6/1 推進団体から20名が田ノ浦を訪れ反対派に抗議
- 6/3 商工協などから100名が田ノ浦を訪れ反対派に抗議
- 6/10 会報「未来通信」特集号発行
- 7/3 反対派の妨害により6日遅れで灯浮標を再設置
- 8/11 会報「未来通信」第2号発行
- 9/1 仮構構に安全柵を設置
- 9/14 町は「花巻の町振興券」の発行が95%に達した発表
- 10/6 中電上関調査事務所が田ノ浦を訪れ妨害中止を要請
- 10/26 「アキラカの日」イベント配布
- 11/5 会報「未来通信」第3号発行
- 11/18 町連協から田ノ浦の町外者に妨害中止を要請
- 11/19 反対派の特別報告の棄却が最高裁で決定
- 中国電力は9月9日から12月13日までの間、4度にわたって海城工事の着手を試みましたが、いずれも反対派の妨害により実現できませんでした。
- 12/9 上関町が「上関海峡温泉」の着工を来月1月と発表
- 12/9 中電が山口県会場で発表の「クセス道建設支援を発表
- 12/15 県内の4市3町12ヶ所で追加地質調査開始

できごとは 町連協 上関町 中国電力 に色分け



瀬戸・東町・中町・戎町



10月中旬の日曜日に行われる竈八幡宮秋の大祭『どんでん山』。過去には3台の山車を引き回し、ぶつかり合っていました。最近では担ぐ若者が減り、1台だけになっています。

上関どんでん山

2009.9/24 撮影



◀ 竈八幡宮
旧小学校の講堂とグラウンドとの間に参道がある。

原電関係や身近な話題を掲載

各方面から要望があったホームページを、このたび開設することになりました。町内の投稿者からいただく原稿や写真を中心に、原電関連の状況、まちの様子、身近なニュースなど、どんどん更新していきます。年末に公開予定です。お楽しみに。



<http://kaminoseki.jp>

町連協がホームページを開設

山口県漁協 上関支店女性部 毎年「ふく鍋」と「鯛めし」を販売していますが、今年は直前に時化が続いたため鯛を入手できず「ふく鍋」だけでした。すっきり恒例になっているため、それを目当てに来場する人も多く、昼までに完売する好評ぶりでした。

また、11月18日から町民体育館で行われた『ボクシング全日本アマチュア選手権』でも、選手や関係者など全国からの参加者に無料提供しPRしました。



生改連若手グループ「アップル」

生改連の女性グループ「アップル」も、昨年つくった「車エビ1尾とかき揚げを組み合せ、値段は500円です。こちらも販売予定



順調に仕上がっているようです。

特産品づくり 応援プロジェクト

vol.14

得意の地元料理 愛・ランドフェアでも好評

定の11時前から行列が出来る好評ぶりです。用意した150食は瞬く間に売り切れてしまいました。

来年は国体開催や温浴保養施設の完成で、上関町にも大勢の人が訪れます。町内の女性団体が開発する特産料理は、

●今年には町内の原電推進団体が様々な活動を行った年でした。私たち町連協も数度にわたって田ノ浦に行き、反対派に妨害中止を要請してきました。このような活動を、これからも積極的にやっていきたいと思えます。(K) ●この1年間で、町外から大勢の反対の人が入ってきたのに驚いています。上関町は正當な手順を踏んでこまできました。彼らがやっているのは場外乱闘のようなもので正當性はありません。社会情勢全般をよく見て行動してほしいと思います。(I)

後記